

ソニックデザイン 企業報道資料 2010年5月27日

ソニックデザイン、メルセデス・ベンツの個性派高級セダン 「CLS クラス」専用のコンプリート・カーオーディオシステムを メルセデス・ベンツ日本(株)より受注

株式会社ソニックデザイン(千葉県千葉市中央区南町2-6-18、社長:佐藤敬守)はこのたび、メルセデス・ベンツの高級4ドアアサルーン「CLS クラス」のためのコンプリート・カーオーディオシステムをメルセデス・ベンツ日本株式会社(東京都港区六本木1-9-9、社長:ニコラス・スピークス)より受注しました。

なお、本システムを搭載したメルセデス・ベンツの特別仕様車、「CLS 63 AMG Sound Suite」「CLS 550 Sound Suite」「CLS 350 Grand Edition Sound Suite」の3車種は、メルセデス・ベンツ日本(株)から、全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じて本日より販売されます。(全国限定合計10台)



「CLS 63 AMG Sound Suite」「CLS 550 Sound Suite」「CLS 350 Grand Edition Sound Suite」に搭載される専用設計コンポーネント群:フルレンジドライバー・モジュール「The Suite Unison-Array」(フロントドア用、写真上側左右)、アディショナルウーファーモジュール「The Suite Extend -Woofer」(リアドア用、写真下側左右)、特別仕様デジタルプロセッサアンプ(写真中央)。オーディオシステムの構成は3車種とも共通です。

CLS クラス専用コンプリート・カーオーディオシステム 概要

メルセデス・ベンツと、ソニックデザインの完全受注製作方式コンプリート・カーオーディオ開発プロジェクト<ソニック ザ スウィート>との初コラボレーションによって生み出され、昨年末の発表以来大きな注目を集める CL クラス限定車「CL 550 Sound Suite」。今回発表する「CLS 63 AMG Sound Suite」など CLS クラス限定車(全 3 車種)は、その「CL 550 Sound Suite」に続く第二弾として、スタイリッシュな高級 4 ドアサルーン「CLS クラス」をベースに製作するオーディオ限定車です。弊社ではメルセデス・ベンツ日本(株)の協力のもと、CLS クラスの車体形状や車室内音響特性に最適化した専用コンポーネント群の設計開発、専任の技術者の手による車両への架装、1台ごとの綿密なサウンドチューニングなど音質にかかわる全工程を担当し、高品位で格調高いカーオーディオサウンドを完成させました。もちろん、各スピーカー用のアルミダイキャスト製エンクロージャ(キャビネット)をはじめとする主要コンポーネント群は本システムのために金型から新規設計して製造。聴く喜びと所有する喜びを同時に叶える、希少性の高い車両となっています。

- 今回発表の CLS クラス限定車(全 3 車種)は、メルセデス・ベンツ CLS クラスにソニックデザイン製の専用オーディオシステムを架装し、メルセデス・ベンツ日本(株)から全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じて販売される車両です。弊社での直接販売は行っておりません。お問い合わせや試聴などのご用命は、全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークで承ります。
- 今回発表の CLS クラス限定車(全 3 車種)に搭載のオーディオシステムおよびコンポーネント、パーツ類はすべて専用に開発されたもので、単独での販売は行っておりません。



「CLS 63 AMG Sound Suite」インテリアの一例(写真はスピーカー等の装着イメージを合成写真により表現したもので、実際の車両ではスピーカーは外から見えません)

CLS クラス専用コンプリート・カーオーディオシステム 設計コンセプト

1：音質純度と聴き心地の良さを求めたシンプルなシステム構成

CLS クラス専用開発した 2 スピーカー構成のアルミダイキャスト製エンクロージャー体型フロントドア用フルレンジドライバー・モジュール「The Suite Unison-Array」（ザ スウィート ユニゾンアレイ）と、これを補完するリアドア用アディショナルウーファーモジュール「The Suite Extend-Woofers」（ザ スウィート エクステンデュウーファー）による、シンプルで本質的な「フルレンジ+補助的ウーファー」の 4 ユニット・6 スピーカー構成を採用。音楽の主要帯域を左右 1 組で再生するスーパーフルレンジ思想のフロントスピーカーと、前席乗員の後方至近距離にある左右一組の補助的ウーファーとを理想的なバランスで組み合わせ、クロスポイントを低音域の 1 点に集約することで、至高の音質純度と聴き心地の良さをあわせて追求しました。

2：純正オーディオシステムとまったく変わらない優れた操作性

純正オーディオシステムのアナログ音声出力を高精度に取り出す独自の回路コンセプト、「SonoRevive」（ソノリバイブ）を採用し、CLS クラス本来の多彩なオーディオ / ビジュアルソースのすべてを高音質に再生*します。もちろん、COMAND システムによるオーディオ / ビジュアル機能の優れた操作性も損ないません。

3：メルセデス・ベンツ純正としての厳しい基準をクリア

ソニックデザインのノウハウを結集した高度なインストール技術により、車室内およびトランクルーム内にいっさいの突起物を設けることなく最大限の性能を確保するとともに、車両の修理や整備の際は必要に応じてコンポーネント類の脱着が容易に行なえる構造としました。さらに、システム全体の軽量化と省電力化も積極的に推し進めることで、一般的なハイエンド・カーオーディオシステムでは不可避だった車両側への悪影響が生じないよう細心の注意を払って設計しています。なお、本システムの架装作業はソニックデザイン本社にて弊社の専任技術者が一貫して行ない、その後に改めてメルセデス・ベンツ日本（株）の新車整備センターで車両を受け入れ、メルセデス・ベンツ純正としての厳しい基準をクリアしたうえで新車登録・納車の運びとなります。

*「SonoRevive」は、純正オーディオシステムから音声信号を取り出す際に音質劣化やノイズなどを抑制するコンセプトであり、音声信号の品位そのものを改善する機能ではありません。したがって、オーディオ / ビジュアルソースの最終的な再生音質は各ソース本来の品位に依存します。たとえば、純正のミュージックレジスター（HDD オーディオ）やメモリーカードスロットなどを使用した MP3 ファイル再生時、外部入力端子にアナログ接続したポータブルオーディオプレーヤー再生時などにおいては、一般論として、純正 CD プレーヤーにおける音楽 CD 再生時などと比較して音質が低下することになります。

CLS クラス専用コンプリート・カーオーディオシステム 各部の特徴

1：独自の SonoRevive 技術による純正オーディオソース専用システム

純正オーディオシステムのアナログ音声出力を、音質劣化を最小限に抑えながら高精度に取り出す回路コンセプト「SonoRevive」により、CLS クラス本来のオーディオ / ビジュアル機能を純正装着の COMAND システムなどで快適に操作できます。純正ソースの高音質再生に特化し、ハイエンド・カーオーディオの最先端をどなたにもストレスなく使いこなしていただくことを目指した新概念のシステムです。

2：フルレンジドライバー・モジュール「The Suite Unison-Array」

音楽の主要帯域を左右 1 組のドアユニットで再生する新概念のフルレンジドライバー・モジュール「The Suite Unison-Array」を、既発売の「CL 550 Sound Suite」に引き続き * 左右のフロントスピーカーに採用しました。このスピーカーモジュールは、CLS クラスのフロントドア内形状に合わせて専用設計したモノブロック構造のアルミダイキャスト製エンクロージャに 2 本のスピーカーユニットを組み込んだもので、ユニットには「CL 550 Sound Suite」と同じく、ソニックデザインが誇る最高グレードの 52mm 口径ワイドレンジドライバー「SD-N52N」型を投入しています。

このモジュールを一般的な 13～17cm 口径マルチウェイスピーカーと比較すると、(1) トウイーター用クロスオーバーネットワークを使用せず音楽の主要帯域をシームレスに再生、(2) 小型高性能スピーカーユニットを平行駆動することで俊敏なレスポンスとハイパワーを両立、(3) インライン配列された 2 本のユニットとリスナーとの位置関係の最適化で音の指向性と広がりを制御、(4) 継ぎ目のない完全一体铸造エンクロージャにより高剛性・低共振化と余裕ある内容積を獲得、というように数多くの優れた特性を備えています。これによりトウイーターやセンタースピーカー**など、アディショナルウーファー（後述）を除く付加的スピーカーを排除し、ソニックデザインならではの、穏やかさと鮮度とを併せ持つナチュラルな聴き心地を実現しました。

* 「CL 550 Sound Suite」用モジュールではスピーカーユニットを片側あたり 4 本装備していたのに対し、本システムではリアドアに装着されたアディショナルウーファーモジュール（後述）との音響的なバランスを検討した結果、同型のスピーカーユニットを片側あたり 2 本装備しています。

** 本システムには携帯電話ハンズフリー通話専用のセンタースピーカーを装備しています。このスピーカーはオーディオ / ビジュアルソース再生と切り離されたハンズフリー通話専用としているため、ハンズフリー通話の機能、およびオーディオシステムの再生音質への影響はありません。

3：アディショナルウーファーモジュール「The Suite Extend-Woofer」

左右のリアドアには、CLS クラスのドア内容積を最大限に利用したアディショナル（付加的）ウーファーモジュール「The Suite Extend-Woofer」を装備しました。この「The Suite Extend-Woofer」は約 150Hz 以下のサブウーファー帯域を受け持つ低音専用モジュールで、これを前席乗員から至近距離にあるリアドアの純正スピーカーに代えて設置し、デジタルプロセッサにより統合制御することで従来型サブウーファーでは難しいとされるフロントスピーカーとの高度な音の一体感を追求しています。またスピーカーユニットには最高グレードのマイクロウーファーユニット「SD-N77N」型を投入し、小口径ならではの低音の切れ味と、口径を超えたローエンドの伸びを両立。エンクロージャは専用設計チューニングポートを組み込んだ高精度アルミダイキャスト製とし、音を濁らせる不要共振を徹底的に排除しながら内容積を最大限確保しました。本システムの個性を象徴するこのコンパクトなモジュールが、大型サブウーファーによる低音再生では実現し得ない瞬発力と空気感を聴かせます。

4：小型・軽量・低消費電力の特別仕様デジタルプロセッサアンプ

システムの中核となるプロセッサアンプ部は、ハイエンドと呼ぶにふさわしい圧倒的な高音質だけでなく、これからのカーオーディオに求められる小型（297×210×58mm）軽量（4kg）、そして車両への負担を最小限に抑える低消費電力も同時に実現。音質・音場補正から最終増幅までを音質劣化のないデジタル領域で遂行するデジタルダイレクトアンプ方式の採用により、各スピーカーを厳密にコントロールします。プロセッサアンプ本体をパーセルシェルフとボディフレームとのわずかな隙間に組み込むことで、車室内およびトランクルーム内部の容積や美観に影響を与えることのないよう配慮。パーセルシェルフにはプロセッサアンプの周辺温度を最適化するベンチレーションスリットを設け、このスリット越しにプロセッサアンプの一部を見せるデザインとし、これが特別な車両であることをさりげなく主張します*。

*ここに記載したデジタルプロセッサアンプの搭載位置および搭載方法、車外からの見え方などについては検討中の項目も含まれます。報道発表以降に変更されることがありますのでご了承ください。

5：車外への音漏れを追放する*フルエンクロージャ方式

全スピーカーユニットをアルミダイキャスト製の専用エンクロージャに収容したフルエンクロージャ方式により、信号待ちや静かな住宅街などで気になる車外への音漏れを追放。周囲への迷惑を気にすることなく、至高のサウンドを満喫できます。

6：最上のもてなしを提案するカーオートメーション機能**

乗車人員（着座位置）に応じた音場と音質の自動調整、リバース（後退）ギヤ選択やドア開閉と連動して音量が滑らかに下降～上昇するアクティブミュート（フェードイン/フェードアウト）など、人の感性と響きあう最上のもてなしを提案。ハイエンドシステムにふさわしいリスニング体験を約束します。

*音漏れを完全に防ぐ構造ではありません。また安全のため、運転中は適切な音量でお楽しみください。

**お客様のご要望に応じて機能をカスタマイズ、またはキャンセルすることも可能です。

本件についてのお問い合わせ先

株式会社ソニックデザイン：

電話 043-209-1777、eメール info@sonic-design.co.jp

以上